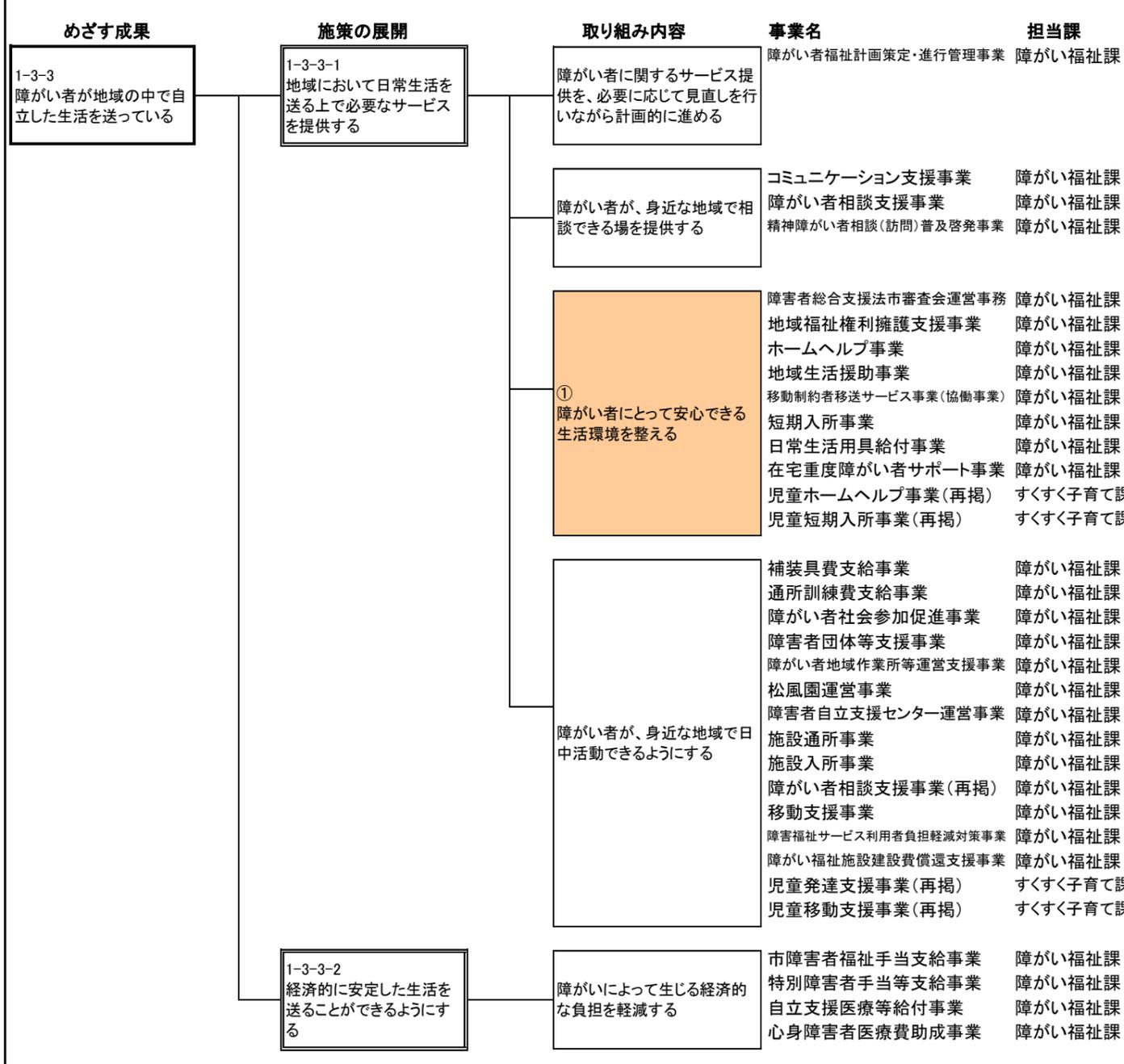


# 平成28年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート

## 1-3-3 障がい者が地域の中で自立した生活を送っている

総合計画体系	健康領域・基本目標	人の健康・一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち
	個別目標	高齢者や障がい者への支援を充実する
	めざす成果	障がい者が地域の中で自立した生活を送っている 地域に障がいのある人の活動の場や社会参加の場があり、その人らしく生き生きとした生活を送っています。

### 「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）



成果を計る 主な指標	指標の名称	前期基本計画			後期基本計画			
		計画策定時 (H20)	最終目標値 (H25)	実績値 (H25)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	中間目標値 (H28)	最終目標値 (H30)
	障がい者の地域移行率	21.5%	33.4%	40.3%	43.6%	44.6%	43.1%	45.2%

所管部	健康福祉部
平成27年度までの 取り組み内容	<p><b>【地域において日常生活を送る上で必要なサービスを提供する】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相談支援事業「なんでも・そうだん・やまと」（市内4事業所）や地域活動支援センター「コンパス」で、障がいに関する相談を必要としている方に対し、情報提供や支援を行いました。</li> <li>家事や介護等を必要とする障がい者に対してホームヘルプサービス（支給決定者H27年度305人）を、介護者の病気などにより、一時的に支援が必要な障がい者に対して短期入所事業（支給決定者H27年度314人）を実施しました。また、グループホーム等を利用する方に対し、入居費用の支給や家賃助成（H27年度1,496件）などを行ったことで、地域での生活が可能なる方の割合が増え、障がい者の地域移行率の向上が図られました。（H27年度44.6%、H26年度43.6%）</li> <li>地域で自立した生活をめざす障がい者に対し、生活介護や就労継続支援などの施設通所事業を実施するとともに、障害者自立支援センターにおいて、就労前訓練や就労促進のための相談、職場開拓、就労後のフォローなど総合的な就労支援を実施提供しました。</li> </ul> <p><b>【経済的に安定した生活を送ることができるようにする】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者が安定した生活を送れるように、障害者福祉手当の支給や自立支援医療等による医療費の助成等を行いました。</li> </ul>

構成事業に対する考え方 （事業の量及び実施手法）	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者や介護者からの相談内容がより複雑化・高度化しているため、専門的かつ継続的な対応が必要です。</li> <li>障がい者や介護者の個々の状況を勘案した上で、相談支援専門員が作成する障害福祉サービス等利用計画に基づく適切なサービス支給が必要です。</li> <li>障がい者が身近な地域で生活することができるように、個々の状況に応じた日中活動の場を提供し支援していくことが必要です。</li> <li>自立支援医療費が増加しています。主な要因として、人工透析導入者の増加があげられます。関係課と連携し、生活習慣病の予防など健康づくり施策を展開する必要があります。</li> <li>ホームヘルプや短期入所など在宅関連サービスの提供をよりいっそう充実させることにより、めざす成果である「障がい者が地域の中で自立した生活を送っている」の実現に向け、効果的な施策を展開していきます。</li> </ul>
-----------------------------	--

今後の展開方針	注）例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。	
新規事業の立案		（該当する事務事業）
既存事業の拡充		（該当する事務事業）
事業の廃止・縮減		（該当する事務事業）
事業の効率化		（該当する事務事業）
その他見直し		（該当する事務事業）